

教職員の時間外在校等時間縮減に効果の高い学校の取組状況調査表

市町村名・学校名	取手市・藤代南中学校
----------	------------

1 時間外在校等時間の状況（教職員の平均値）

区分	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
小学校							
中学校	31 : 03	35 : 02	40 : 05	40 : 01	43 : 37	45 : 23	32 : 36

2 学校が主体的に実施する効果が高い取組の概要

【学校業務の削減・縮減に関する取組】

- ・部活動を複数顧問制とし輪番で部活動指導を行っている。平日の1人の顧問が指導できる日数を週3日までとし、放課後の作業時間を確保している。
- ・学年だより等の各種通信の紙での配布を廃止し、ホームページ掲載に変更した。
- ・個別対応以外、学校から保護者に行う連絡手段をメールに統一した。
- ・保護者向けの学校評価アンケート、行事の感想などをWeb アンケートにした。
- ・会議資料は印刷せずにファイル共有し、各自が手元のPC などから閲覧できるようにした。（ペーパーレス化）
- ・作成した教材を校内の共有フォルダに残していくことで、他の教員が活用できるようにした。
- ・授業時間内に会議の時間を設定した。（学年主任会、生徒指導部会、教育相談部会）
- ・保護者の口座から学校の口座へ自動払込み、学校の口座から業者の口座へ電信振替とした。
- ・取手市の全員担任制を活用し、各学年の担当を毎週変更することで、学級担任の業務を軽減し、負担を分散することができた。
- ・取手市で導入した、Web アンケートフォーム（LEBER）を活用し、タブレットPCを通して保護者からの欠席連絡・検温報告を確認できるようになった。
- ・取手市のシルバー人材活用により、コロナ感染対策の消毒時間を削減できた。（週5日・毎日2時間、手すり・ドアノブの消毒、トイレの清掃等をお願いしている。）

【教職員の意識改革に関する取組】

- ・職員の働き方改革の個人目標を設定し、目標設定や進捗状況についての教員評価面談を通して、指導・助言しながら意識を高めている。
- ・タイムカードによる出退勤時間の打刻をし、月ごとの超過勤務時間の確認をしている。
- ・校務分掌を見直し、業務を複数職員で担当できるよう配慮している。このことにより、互いに声を掛け合って業務を協力して行う体制や、仕事の悩みを一人で抱え込まない雰囲気づくりを進めている。
- ・管理職が、個々の職員の働きぶりや出退校簿を丁寧に確認し、個々の職員に即した働き方を指導・助言している。
- ・小グループによる働き方改革についての校内研修を実施し、チームとしての取組について協議し、職員全体の意識の向上に努めている。
- ・管理職が常日頃から、教職員に声掛けし、円滑な人間関係の構築に努めている。また、勤務時刻終了前に声掛けし、定時退勤を促し、帰りやすい職場の雰囲気づくりに努めている。
- ・心のセルフチェックシステムを活用したメンタルヘルスセルフチェックを実施している。（年2回実施）
- ・市の方策として全員担任制を取り入れている。学年職員で、担任をローテーションすることで、生徒指導等の諸問題に学年全体で対応している。担任一人で悩みを抱え込むことがなくなり、精神的な負担も軽減している。

【その他時間外の原因分析・解消に関する取組】

- ・PTA活動やPTA主催の行事、PTA関連の会合の開催日数や時間に関して、保護者とともに見直しを行った。
- ・PTAの有志による運営を行っている。
- ・PTAに関する連絡や出欠確認、委任状をすべてオンライン上で行えるように、PTA本部と見直しを行った。